

スコアシート		実施設計段階				
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄				
			評価点	重み係数	評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質						全体
Q1 室内環境						
1	音環境		-	-	-	-
	1.1 室内騒音レベル	-	-	-	-	
	1.2 遮音		-	-	-	
	1 開口部遮音性能	-	-	-	-	
	2 界壁遮音性能	-	-	-	-	
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	-	-	-	
	4 界床遮音性能(重量衝撃源)	-	-	-	-	
	1.3 吸音	-	-	-	-	
2	温熱環境		-	-	-	-
	2.1 室温制御		-	-	-	
	1 室温	-	-	-	-	
	2 外皮性能	-	-	-	-	
	3 ゾーン別制御性	-	-	-	-	
	2.2 湿度制御	-	-	-	-	
	2.3 空調方式	-	-	-	-	
3	光・視環境		-	-	-	-
	3.1 昼光利用		-	-	-	
	1 昼光率	-	-	-	-	
	2 方位別開口	-	-	-	-	
	3 昼光利用設備	-	-	-	-	
	3.2 グレア対策		-	-	-	
	1 昼光制御	-	-	-	-	
	3.3 照度	-	-	-	-	
	3.4 照明制御	-	-	-	-	
4	空気質環境		-	-	-	-
	4.1 発生源対策		-	-	-	
	1 化学汚染物質	-	-	-	-	
	4.2 換気		-	-	-	
	1 換気量	-	-	-	-	
	2 自然換気性能	-	-	-	-	
	3 取り入れ外気への配慮	-	-	-	-	
	4.3 運用管理		-	-	-	
	1 CO ₂ の監視	-	-	-	-	
	2 喫煙の制御	-	-	-	-	
Q2	サービス性能		-	0.43	-	3.7
1	機能性		-	-	-	-
	1.1 機能性・使いやすさ		-	-	-	
	1 広さ・収納性	-	-	-	-	
	2 高度情報通信設備対応	-	-	-	-	
	3 バリアフリー計画	-	-	-	-	
	1.2 心理性・快適性		-	-	-	
	1 広さ感・景観	-	-	-	-	
	2 リフレッシュスペース	-	-	-	-	
	3 内装計画	-	-	-	-	
	1.3 維持管理		-	-	-	
	1 維持管理に配慮した設計	-	-	-	-	
	2 維持管理用機能の確保	-	-	-	-	
2	耐用性・信頼性		3.0	0.50	-	3.0
	2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	
	1 耐震性(建物のこわれにくさ)	-	3.0	0.80	-	
	2 免震・制震・制振性能	-	3.0	0.20	-	
	2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30	-	
	1 躯体材料の耐用年数	-	3.0	0.22	-	
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	-	2.0	0.22	-	
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	-	-	-	-	
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔	-	3.0	0.11	-	
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水PEP(B)、排水VP(B)、冷媒銅管(C)、Eは不使用	5.0	0.22	-	
	6 主要設備機器の更新必要間隔	-	3.0	0.22	-	
	2.4 信頼性		3.0	0.20	-	
	1 空調・換気設備	-	3.0	0.20	-	
	2 給排水・衛生設備	-	3.0	0.20	-	
	3 電気設備	-	3.0	0.20	-	
	4 機械・配管支持方法	-	3.0	0.20	-	
	5 通信・情報設備	-	3.0	0.20	-	

3	対応性・更新性			4.3	0.50	-	-	4.3
	3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
	2	空間の形状・自由さ	[壁長さ比率]<0.1	5.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり		倉庫床4500N/㎡以上	5.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	ケーブルラック・配管内配線により仕上材を痛めずに更新・修繕	5.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	ケーブルラック・配管内配線により仕上材を痛めずに更新・修繕	5.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.57	-	-	2.8
1	生物環境の保全と創出		—	3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮		—	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	—	2.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	—	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	3.3
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	3.0
1	建物外皮の熱負荷抑制		—	1.0	0.20	-	-	1.0
2	自然エネルギー利用		—	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		BEIm=0.41	4.3	0.50	-	-	4.3
	集合住宅以外の評価			4.3	1.00	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
4	効率的運用			2.0	0.20	-	-	2.0
	集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	—	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	1.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	—	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	3.4
1	水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1	節水	自動水栓、節水こまに加えて節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	—	3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	—	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	-	3.4
	2.1	材料使用量の削減	—	3.0	0.11	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	—	3.0	0.22	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	—	3.0	0.22	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	—	3.0	0.22	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	—	-	-	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	躯体+軽鉄+仕上材のディールを採用し、OAフロアも採用している	5.0	0.22	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	—	3.0	0.30	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
	1	消火剤	—	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	ハフロンの断熱材を採用しODP=0、GWP=3の発砲材を用いた断熱材等を使用している	4.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	—	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	3.5
1	地球温暖化への配慮		LCGCO2排出率=73%	4.0	0.33	-	-	4.0
2	地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
	2.1	大気汚染防止	燃焼機器の採用なし	5.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善	—	3.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	—	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	—	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	—	-	-	-	-	
	3	悪臭	—	-	-	-	-	
	3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	—	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	—	-	-	-	-	
	3	日照障害の抑制	—	3.0	0.30	-	-	
	3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光源は、総合効率を考慮した計画としている。内照式看板の露出によるものは、その設置について十分に配慮する。	5.0	0.70	-	-	
	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
1.3.2 維持管理用機能の確保	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
2.4.1 空調・換気設備	－		○	－	－	－	－								
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	－	－	－	－	－	○						
2.4.3 電気設備	1.0	－	－	－	－	○	－	－							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	－	○	－	－	－							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	8.0		－	－	3.0	－	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	－	－		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	－	－	－	－							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		－	－	－	－	－	1.0	－	－					
3.2 敷地内温熱環境の向上	7.0		－	1.0	1.0	3.0	－	－	－	－	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			－	－	－	－	－	－	－	－					
2.1 材料使用量の削減	2.0		－	－	2.0										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			－	－	－	－	－								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	－	○	－									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	－														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	9.0		1.0	－	－	3.0	3.0	－	－	1.0	1.0	－			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		－	－	－	1.0	1.0	－							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		1.0	1.0	1.0	－		－	－						
3.2.2 砂塵の抑制	－		－	－											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)-						
U値(W/m2K)	窓システム	-	屋根	-	外壁	-	床	-
住戸部分	窓システムU値	-	外皮UA値	-	η AC	-	η AH	-
昼光率	-							
自然換気有効開口面積率	-							

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

執務スペース	-	/人	病床	-	/床	シングル	-	ツイン	-
コンセント容量	-	VA/m ²							
天井高	-	m							
リフレッシュスペース	-	レストスペース -							
想定耐用年数	-	年							
想定必要間隔	-	年							
想定必要間隔	-	年							
想定必要間隔	-	年							
階高	6～6.7	m							
壁長さ比率	9.0%								
床荷重	15000	N/m ²							

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外構緑化指数	-	建物緑化指数	-	
空地率	-	水平投影面積率	-	地表面対策面積率 - 舗装面積率-

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

BPI/BPI _m	1.07	断熱等性能等級			対象外 相当		
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年m ²			採光を満たす教室数	-	採光を満たす住戸数	-
				通風を満たす教室数	-	通風を満たす住戸数	-
				太陽光	-	太陽熱等	-
						蓄電池	-
BEI/BEI _m	再エネ有	0.41	無	0.41	オフサイト再エネ有	-	-
一次エネルギー削減率	再エネ有		無				-

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

雨水利用率	－				
特定調達品目	断熱材	エコマーク商品	－	自治体指定の特定品目等	－
使用比率	－				
オゾン層破壊係数(ODP)	－	地球温暖化係数(GWP)－			
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)		3	
オゾン層破壊係数(ODP)	－	地球温暖化係数(GWP)－			

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	-	隣棟間隔指標Rw -					
地表面対策面積率	-	屋根面対策面積率 -			外壁面対策面積率 -		
見付面積Sb	-	卓越風向と直交する最大敷地幅Ws -			m	基準高さHb - m	
緑地	-	水面	-	保水性対策面	-	高反射対策面	
					-	再帰性反射対策面	-